

第1回遠軽地域まちづくり会議議事録

日時	令和2年3月10日(木) 18:30~20:30	
場所	遠軽町福祉センター2階2号会議室	
出席者	齊藤会長、平野副会長、小林委員、佐渡委員、藤田委員、佐藤委員、竹之内委員 遠軽町総務部企画課 佐藤課長、中原主幹	
欠席者	橋口委員	
次第	発言者	発言要旨
1 開会	企画課	只今より令和元年度第1回遠軽地域まちづくり会議を開始する。橋口委員は欠席。 以下議事進行は、齊藤会長にお願いする。
2 企画課 話題提供	企画課	別添資料に基づき話題提供
3 意見交 換	委員	公共施設の建て替えで優先順位が高いのはどの施設か。
	企画課	総合計画の参考資料として今後5年間の大型のハード事業を取りまとめた。総合体育館は令和5~6年度ぐらいに上がっている。ただ、計画に載っていても、その時にやるかやらないかはわからない。総合体育館についても、5年間のうちにやるか、やらないかという位置付けとしている。
	委員	合併して大まかに4つの地域がある。「コンパクトシティだから、皆遠軽に来て」とはならないので、それぞれの地域の特性を生かして何かをするという目標を持つという形にできないか。白滝であれば、農家さんたちがいろいろ取り組まれている。まちづくり会議委員の江面さんがじゃがいもを組み合わせたセットや、宿泊をやったりしている。そういうことが地元の人にあまり知られていない。もっと町の人にPRしたい。高齢でもう農業をやっていない方などがいらっしやると思う。その土地を若い人に引き継ぐということも考えたい。生田原だと福祉施設がたくさんある。そうしたものを集中させて強化する。遠軽は病院や役所の中核があつてというように。逆に区分けをして各地域の強みをまちづくりに出したらいいのと思う。生田原高原和牛については、なぜやめてしまったのだろうか。
	企画課	農協に引き継いで、農協でもやめてしまった。
	委員	販路ができなかったのか。
	企画課	率直に言うと儲からなかったのだと思う。ただ、今の時代であれば、ふるさと納税で人気になったと思う。
	委員	遠軽にも「みるく屋」があつた。今は興部や西興部でやっているが、当時は認知されなかった。数年前ぐらいにやっていたら、絶対にうなぎ上りだと思う。
	委員	かつて基盤があつたのだから、もう一回復活させることは可能なのでは？

委員	現在やっている白滝の牛肉は、東京に一度出て、業者から買い戻ししなければならない。全量買い取りでないとリスクがあるので、なかなか地元流通ができない。
委員	どうしても事業採算が合わなかったらできないとなる。
委員	そういうところを、採算が合わなくてもいい町が助けてはどうか。
企画課	生田原和牛も町が出資して第 3 セクターでやっていた。結局、赤字で続かなかつたというのが実情。「ふぁーらいと」の地ビールも同じくやめざるを得なかった。
委員	ちゃんと商売として育てるものと、そうでないものをきちんと見極めてお金を入れる。長くやってもらうには人を育てなければならないし、何年かけてもお金を入れなくてはいけない。遠軽は目の付けどころはいいが続き、それをずっと繰り返していると感じる。
企画課	先ほど話のあった 4 つの地域の強みを生かすというのはいいと思うが、合併して 15 年経ったということを節目に、一つの町としての戦略を考えて行かなければならない。その中でこの地域はこんな役割があるというような位置付けをしていただくのがいいと思う。
委員	そういう意味では支所については、そろそろ見直しが必要な時期ではないか。
委員	ふるさと納税で応援したくなるものや、魅力のあるものがないか、ということだが、私が考えるのはアスパラやミニトマト、かぼちゃなどが思い浮かぶ。一部の農家ということになってしまうが、実際、ふるさと納税を伸ばせるような物産が何かあるだろうか。
委員	ここ 2 年間でいろいろ掘り起こされてきている。ベル食品のレトルト 1 年分とか、吉川さんなど。それが新しいチャンネルの売り上げにつながっている。今までよりアイテムが分散してきているので、更に広げ、お店の新しいチャンネルの売り上げにつなげたい。一方で、目玉がないといえばそうかもしれない。ストーリーを作って、返礼品に頼らない応援者を作っていくことも重要。返礼品目当てでなく、単に遠軽を応援したいという人を増やしていくことも考えたいと商工会議所では考えている。そこで付録（返礼品）が付くとお店の売り上げにもつながっていく。
企画課	紋別市の人気の返礼品の一つが流氷。アイデアしだいという面もある。
各委員	（肉と野菜の詰め合わせ、ビーツを使った商品。などのアイデアが出される。）
委員	前の会議で地域のいいところを探すということをやったが、やはりそれは大事だと思う。
委員	確かに新しく作るということは難しい。あるものを掘った方が早い。
委員	南中学校の学校評議員をやっているが、先日、生徒が町おこしについて考える授業があり、その発表があった。子どもたちが本当に真剣に取り組んでいる。

委員	観光協会で講師として参加している。アイデアとしては面白いものがたくさんあった。ホテルを作るとか、瞰望岩からバンジージャンプ、旧遠軽小学校校舎を利用してサバイバルゲームなど。発想がすごく面白い。
委員	若い子たちの意見を聞いて、もっと遠軽を好きになってもらって、一度遠軽を出ても、戻ってきて町をつくる意識を高めてもらうことが大事だと思う。こういう場と子どもたちの場を合同で話し合いができるような機会を設けてはどうか。
企画課	今の総合計画を 5 年前に作った時に高校生のアンケートを実施して反映させた。若い人の意見を聞くことは非常に大事だと思っている。
企画課	皆さんが良ければ、中高生とのワークショップをまちづくり会議の枠組みでやってもよい。
委員	南中さんにもお話してみたら結構いい反応があった。人口減少を緩和するということにもつながるのではないかな。
企画課	高校卒業したら出て行ってしまうという傾向がどうしてもある。
委員	出てもいいが、色んなことを知って帰ってきてほしい。
委員	南中では毎年やっているのか？
委員	毎年、修学旅行に行く前に遠軽町の魅力や観光などについて学習し、帰ってきて報告・発表の機会がある。今年は札幌とニセコに行って、そこと比べて遠軽町はどうかということをグループで発表する。修学旅行の時には、コスモスの種を札幌で配布し観光 PR をしている。
委員	公共施設についての話があったが、遠軽地域には収入制限のある公営住宅しかない、他地域には収入制限のない定住促進住宅などがある。遠軽は家賃の水準が高いので、遠軽地域でも生産年齢の人で、住宅に困っている方にそういったものが提供できるといいのではないかな。
委員	遠軽は転勤者が多く、住宅手当のある人が多い。そこが、家賃の水準を上げている要因だと思う。
委員	今建てられている物件はこの家賃でもカツカツでやっている状況だが・・・。
委員	住宅手当のある人はいいが、地元の事業所に就職する若い人にとっては厳しい。若者を UIJ ターンさせても、そこを考えないと。親と一緒に住む人はいいが、J ターンや I ターンは難しい。
委員	空家を活用できないか？
委員	オーナーがちゃんと管理していないと、若者は住みたがらない。若者が帰って来るようにするには、そういったところを考えてあげたい。
委員	就職のアナウンスは遠軽高校に行ってやっているが、なかなか難しい。今年は遠軽

	高校から大学を出て、信金に入ってくれる方はいない状況。
委員	人口が減る中、施設が老朽化している。早いうちに施設の統廃合などを実施して、それで浮いた予算で若い人への家賃補助に充ててほしい。今は、国などからお金が出て東京からのU I Jターン者には100万円の補助がある。芸術文化交流プラザに統合して、福祉センターや高齢者センター、青少年会館も廃止となる。公共施設も早目に見切りを付けて、もっと若者が帰って来やすい制度の創設などをしてもらいたい。
委員	私は合宿施設の充実を提案したい。若い人はW i - F i も使うので整備したい。
委員	今の子どもたちは、お風呂やトイレはきれいなところを使いたいだろう。呼ぶのならちゃんとしたところを作らないと。
委員	お金を落としてくれるのは、大学生や社会人。そういったところは、ホテルに泊まる。合宿誘致をがんばって社会人や大学生が来ると民間が儲かるので、そこは民間の投資のしどころ。それを公的施設でやられると売り上げが上がらなくなってしまふ。施設整備より合宿誘致補助があった方がいいのではないかな。
委員	高校生以下は予算上、どうしても公共施設を利用することになる。お風呂もそうだが、ウォシュレットなどもないと今の子どもは嫌がる。そういった整備も必要ではないかな。色んな町が合宿誘致に取り組んでいる。その中で決め手になるようなものが必要だ。
委員	人工芝の球技場や音楽ホールなど条件がそろってきている。受け入れ体制さえ整えば、もっと来るのではないかな。
企画課	合宿誘致も何のためにやるのかで変わってくる。町でお金をかけて施設を整備して、安く使ってもらおうということになると、町にとってどういうメリットがあるのかとなってしまう。
委員	来てくれた時に町民とふれあう、地域を好きになってもらうということもあると思う。昔、神大陸上部が来てくれていた時は、地元の人が炊き出しをしたり、箱根駅伝を応援したりということがあった。今の合宿はどうか。
委員	ラグビーや吹奏楽では、地元の子どもが指導を受けたりしている。
企画課	地元の子どもたちに教育効果があるから合宿誘致なのか、あるいはホテルや消費などの経済効果のための合宿誘致なのかどっちだろうか。
委員	ラグビーのホンダヒートのようなところに来てもらえると経済効果が高い。
委員	食事の関係でも遠軽はケータリングを頼めるところがない。
委員	そういうのも業として根付けばいいのだが、規模の問題がある。総合体育館なども整備されれば、強みはある。

委員	温水プールを利用した温泉はできないだろうか。温泉があれば魅力がある。	
委員	温泉ならば、瀬戸瀬温泉を活用したい。ケータリングをしっかりとすれば良くなる。	
委員	瀬戸瀬温泉は楽天のアワードでランクインしてから、夏は断るぐらいの宿泊が来ている。最近分かったのだが、瀬戸瀬温泉で売っている熊の爪のお土産が良く売られている。ああいうものが本州から来た方には魅力があるようだ。白楊舎の熊や鹿の缶詰も喜ばれる。西興部村は、ギター工場をやっている人など、すごく若い人が入っている。移住者への補助金もある。街並みもオレンジで統一するために協力すると村から補助が出る。出生に対しても補助がある。また、西興部と占冠は道内でも特別猟区になっていて、ガイドを付けて猟をしてもらうのだが、ガイドの収入もすごくある。鹿革のなめし工場にも村がお金を出して、商品にしている。資源をうまく活用している。遠軽にも何か「遠軽いいね」というものがあるといい。道の駅については、温泉やボルダリングなどの提案をしたが、残念ながら実現しなかった。	
委員	町民センターでもボルダリングを提案したがダメとなった。	
委員	札幌なんかだと、日中は主婦、夜は会社勤めの方などでけっこう人気がある。	
委員	子どもたちが頑張っているものを応援したい。スノーボードのハーフパイプで子どもたちが活躍しているが、なくなってしまい残念に思う。	
委員	道の駅にカフェやファーストフードがあるが、ラーメンやカレーを出してほしい。	
委員	子どもがスキーに行くときにおにぎりなどを持たせないといけないと、よく聞く。	
委員	町のにぎわいということで、コスモスフェスタや雪提灯などのイベントを継続してほしい。コロナウィルスの影響もあり、学童保育の充実も取り組んでほしい。	
5まとめ	委員	これまでの意見をまとめると、各地域の特性を生かしたまちづくり、ふるさと納税への特産品の活用、南中の生徒たちとの意見交換、若者が入れる公営住宅、公共施設の統廃合、合宿誘致のための施設整備、道の駅の温泉、ボルダリングなどが出た。次回の日程についてはどうするか。
	各委員	(5月の後半ぐらいが良いということでもとまる。)
	委員	検討テーマは？
	企画課	色々なアイデアを出していただいたが、少し収れんさせていただくと、若者と子どもとかに関する意見が多くあったと思う。例えば「若者が戻って来たくなくなるような町にするにはどうしたらいいか」というような感じでまとめてもらえると次につながると思う。
	企画課	中高生の意見を聞く機会を設けるとか、若者が戻って来やすい環境づくり、その財源を生むために施設の統廃合も含めて考えるというような流れで行った方が議論

	しやすいのではないか。
委員	私としては、若い人が住みたい町ということで、医療や公共交通、物価の安さ、商業施設などがあることが住みたいということにつながると思う。
委員	そうしたものは、少し上の世代の人の考えで、今の子どもたちからすると、休みがしっかりしていて、遊べる場所があって、というような意見が多いと思う。医療なんか子どもが生まれるときに初めて関わる。若者の目線で考えた方がいい。あと、町の財源を作るためには色々なものを見直さなくてはならない。
企画課	丸瀬布地域は、「いこいの森の冬場の活用」「ふるさと納税の促進」を今後のテーマとしてまとめた。2～3点ぐらいに絞って話す方が議論を深められるのではないか。
委員	若者が帰って来れるまちづくり、合宿や体育施設のあり方などになるのでは。あと、ふるさと納税について、返礼品に「ハンターツアー」なんかもいいのではないかと思った。
委員	テーマをある程度決めた方が空いた時間を有効に使いやすい。
委員	若者が帰って来れる町づくりと合宿誘致のための施設づくりということでしょうか。
企画課	合宿誘致については、施設整備に投資するということが、お金をかけてどう回収するか、あるいは別の部分で財源を生み出すのか。そういったところも考えていただきたい。合宿誘致も既に取り組んでいて、単に施設を良くするだけで新しい切り口もないということだと町として取り入れにくい。
委員	それならば、自由に使える財源であるふるさと納税を伸ばすことを考え、それを使うことにする。返礼品の掘り下げは特産品開発にもつながる。
企画課	次回は、5月後半で日程調整する。テーマは、「若者が住みたくなる、住み続けたくなる町づくり」「合宿誘致の推進」「ふるさと納税の促進」ということでいいか。資料は、ふるさと納税のリストを用意する。
委員	公共施設も考えて行かなければならない。
企画課	公共施設の見直しについても資料を用意する。若者対策の先進事例も調べておく。
6 閉会	委員 以上で閉会する。

20 : 50 頃終了